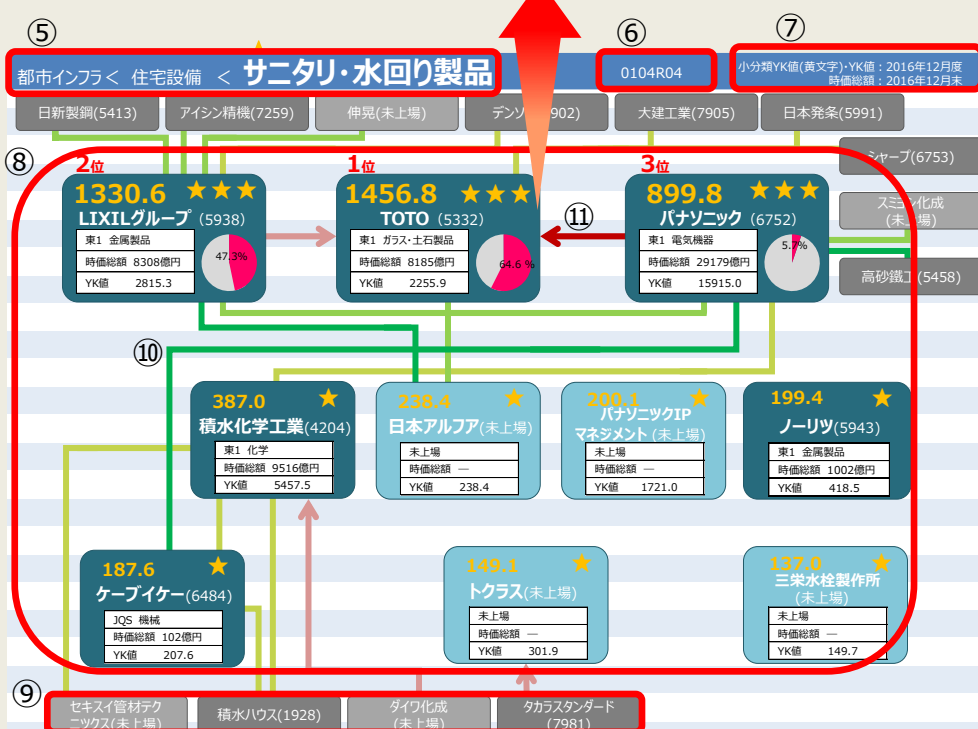


YKS Map (解説付) の見方

〔 Mapページ 〕

YKS Map は技術による業種分類「 YKS技術業種分類 」の小分類単位に企業の友好関係、敵対関係をマップとして示すものです。マップは約300枚あり、各マップでは特許から見た技術競争力を示すYK値を用いてベスト10の企業（メイン企業）とこれらの企業と競争・協力関係にある企業（サブ企業）がマッピングされています。

《 下図1位部分を拡大 》



- ① 小分類YK値：各小分類内でのYK値（黄文字で表す）。
 YK値とは、特許が持つ経済的な競争力（＝経済的価値）を示す指標。一般に、競合企業にとって脅威となるような特許は、その競合企業から成立の阻止や消滅などを目的とした様々な攻撃を受けることになるが、裏を返せば、たくさんの攻撃を受け、それでも生存している特許ほど稼げる特許（経済的な競争力が高い特許）であるといえる。YK値は、各特許が受けた攻撃の情報を特許庁データから抽出、その攻撃の規模と質などを分析してポイント付け、合計したもの。
- ② 星(★)：小分類内Y K 値が大きい順に星の数3段階で表示している。
- ③ 企業データ：上場部・業種名・データ基準日の時価総額・Y K 値(企業全体)
- ④ 円グラフ：当該企業の小分類YK値がYK値(企業全体)に占める割合をメイン企業1位～3位について示している。
- ⑤ タイトルエリア：大分類名<中分類名<小分類名
- ⑥ 小分類コード：YKS業種分類における小分類コード
- ⑦ データ基準日:YK値基準日・時価総額基準日
- ⑧ メイン企業：小分類内YK値の高い企業 1位～10位
 （上場企業は紺色、未上場企業は水色）
- ⑨ サブ企業：メイン企業と友好関係および敵対関係を有する企業
 （上場企業は濃灰色、未上場企業は薄灰色）
- ⑩ 友好関係線：技術競争力が高い特許についての共有関係を示す。その共有特許の技術競争力が高いほど、濃い緑色で示している。
- ⑪ 敵対関係線：企業の特許を消滅させるための攻撃すなわち特許無効効審判のほかに、特許延長登録無効審判、権利範囲の争い（判定）、異議申立（新・旧）の関係を赤矢印で表しており、その回数を色の濃淡で示している。

【 解説ページ 】

YKS Map（解説付）の解説ページは、業種分類「YKS技術業種分類」の小分類単位の企業活動状況、技術説明、技術開発の動向、この小分類に属する代表的な発明の名称、特許の概要などを記載したものです。

- ① タイトルエリア : 大分類名<中分類名<小分類名
- ② 小分類コード : YYS業種分類における小分類コード
- ③ 解説作成日 : 本解説を作成した日
- ④ 解説 : 小分類の技術分野の概況を解説
- ⑤ 写真等 : 小分類のイメージ写真
- ⑥ 代表的な特許の概要
 - ・小分類内順位 : 小分類の技術分野に属する代表的な特許のY K 値順位
 - ・証券コード及び会社名 : 特許の実質的な所有会社
 - ・特許番号 : 特許庁から付与された特許の識別番号
 - ・発明の名称 : 登録されている発明の名称
 - ・出願番号 : 出願時の出願識別番号
 - ・特許別 Y K 値 : 特許に与えられている Y K 値
 - ・課題・解決手段 : 公報に記載されている発明が解決すべき課題と、課題を解決するための手段

都市インフラ < 住宅設備 < **サニタリ・水回り製品**
0104R04
解説作成日: 2017年10月末

【 解説 】

この技術分野には、便器（装置）、浴室、洗面化粧台、システムキッチンなどの技術が含まれる。便器（装置）に関しては、陶器製の物の他に、近年は樹脂製のものも登場し、従来のもののシェアを奪いつつある。便器（装置）では、人が近づくと蓋が空いたり、便座の温度調節を人が使うときに高くして、そうでないときには節電するなどの省エネ技術や、洗い流す水の量を少なくする節水技術が各社間で競われている。

浴室、洗面化粧台については、デザイン性を競う他に、転きやすい床材の利用、排水口の掃除容易化、家庭での負担の軽減等に着眼して技術開発がされている。システムキッチンに関しては、IHクッキングヒーターも多く販売されており、安全性とともに火のコントロールが自動化される傾向にある。

近年は、健康志向の高まりとIoT技術の広がりからこの技術分野もますます高度化しつつある。利用例としては、排便尿を分析して体調管理に活かす技術やシステムキッチンの情報化などが図られている。

この技術分野に属する発明の例としては、「流し台のシンク」「水洗便器」「浴室用床パネル」「浴室構造」「洗面化粧台」「便器洗浄タンク」「システムキッチン用シンク又はカウンター」などが挙げられる。

この技術分野では、第1位のTOTO、第2位のLIXILグループ、第3位のパナソニックが大きなY K 値を有しており、3強の分野であると言える。今回第5位の岡田製作所は前回ランキング外であった。

④ 代表的な特許の概要

小分類内順位	証券コード	会社名	特許番号	発明の名称	出願番号	特許別 Y K 値
1	5332	TOTO	5057192	大便器装置	2010-288117	215.86
2	5938	LIXILグループ	5995049	水栓のハンドル装置	2012-044714	40.79
3	6752	パナソニック	5122741	システムキッチン用シンク又はカウンター	2005-348319	41.64

⑥

【課題】 洗浄水のポウル外への飛び出しおよび飛び取りをなくし、ポウルの洗浄性能を向上させた大便器装置を提供する。
 【解決手段】 本発明は、大便器のリム直下でポウル内面に沿って略水平にポウル部の後方側部より前方に洗浄水を供給するノズルと、洗浄水をポウル全周に導くポウル内面に沿った棚と、を備えた大便器装置において、棚は、ポウル部の側部では略水平で、ポウル部の前方部ではポウル部中央に向かって傾斜し、ノズルから噴出した洗浄水が棚に沿って巡回する。

【課題】 ハンドル本体を異形状とした場合においても、ハンドルの回転によってその内部が見えてしまうことがなく、ハンドルないしハンドル周りの美観を良好に保つことのできる水栓のハンドル装置を提供する。
 【解決手段】 水栓本体を含む水栓主体部のハンドル取付面に回転可能に取り付けられるハンドルを含んだ水栓のハンドル装置であって、ハンドルが、筒状の高壁部と閉鎖部とを備え取付面の側が開放された形態のハンドル本体を有し、且つハンドル本体の回転軸線方向視形状が非円形の異形状とされている場合において、ハンドル本体の開放部を閉鎖する状態に異形状の蓋体をハンドルと一体回転する状態に取り付けておく。

【課題】 住環境での使用を目的とした金属板の表面に十分な耐キズ付き性を確保すると共に、この十分な耐キズ付き性を備えた金属板を効果的に用いたシステムキッチンを提供する。
 【解決手段】 金属板の表面に、上下高さH = 10 ~ 100 μmの凹凸形状を単位面積当たりの凹凸面積比が9 : 1 ~ 5 : 5の範囲になるように形成すると共に、この凹凸形状の凸部の表面に十点平均粗さRz = 5 ~ 50 μmの微小凹凸を形成する。

⑤



出典: 岡田製作所